

北里大学における GPA(Grade Point Average)制度【健康科学部】

<北里大学における GPA(Grade Point Average)制度について>

対象科目の原成績（100点～0点）を、以下の計算式による GPA 指数（以降「GP」）に変換し、各対象科目の GP に対象科目の単位数を乗じ、その総和を対象科目の単位数の総和で除した値を GPA として算出します。

GPA の対象となる科目は、必修科目及び選択科目とし、自由選択科目は対象外とします。なお、不可科目も含み、再履修科目は最終評価を基に計算します。

<計算式>

$$\frac{\text{(GP} \times \text{修得単位数)の総和}}{\text{総履修登録単位数(「不可」の単位数を含む。)}}$$

GP = (TS-55) / 10 ただし、GP < 0.5 は GP = 0.0 とする

※GP:GPA 指数、TS:原成績（得点）

ただし、上記の計算式で計算しますが、他の一般的な GPA 制度（秀・優・良・可などの評価（レターグレード）から GP に換算）の範囲は 4.0～1.0 であるため、通用性に配慮し GP 「4.0」以上の値を一律「4.0」に、「0.5以上1.0以下」の値を一律「1.0」にした GP を用いて計算します。

<GPA 値に基づく学修指導について>

成績不良による留年の場合は、GPA 値に基づき、学修指導（*）が行われる場合があります。下記により学修指導が行われ、過年度からの度重なる学修指導にも関わらず改善が見られない場合には、退学勧告が行われることがあります。

なお、GPA 制度はあくまでも学生の皆さんの学修意欲向上を目的としているため、むやみに退学勧告が行われることはありません。

※GPA 値が低くなる原因として、「履修単位数」と「修得単位数」に開きがある場合があります。

GPA 値が低い場合は、履修単位数が多いために十分な自学自習の時間がとれていないことが考えられますので、大学における学修への臨み方を含めて指導が行われます。

<GPA 基準値>

年次	1	2	3	4
累積 GPA	0.500	0.500	0.500	0.500

指導内容（成績不良による留年の場合で、累積 GPA 値が GPA 基準値を下回った場合）

- 1回 本人とクラス担任との面談が行われ成績不振に対する学修指導が実施される。
- 2回 本人とクラス担任との面談が行われ成績不振に対する学修指導が実施され、保証人への通知が行われる。
- 3回 退学勧告（本人・保証人と学科長との面談を実施し、退学するか学修を継続するか本人が選択）